



報道機関 各位

記者発表資料
令和4年12月22日(木)
問い合わせ先：指導1課
課長：藤田 担当：高見澤
電話：829-1661
内線：4062

市立中学生によるビジネス提案発表会「さいたまカップ」の結果をお知らせします

さいたま市教育委員会では、中学生によるイノベーション企画の提案を通じて、さいたま市の新しい可能性を発見することを目指す「さいたまエンジン」を市立中・中等教育学校の3校で実施しました。このたび、ファイナルプレゼンテーション大会「さいたまカップ」を12月17日(土)に開催しましたので、結果を以下のとおりお知らせします。

○「さいたまカップ」結果

<グランプリ・タムロン賞>

浦和中学校 チーム名：オムハヤシ

プレゼンテーションタイトル：「清水」

内容：レンズで果物の糖度を測る「透かしみず」機能によって最適な収穫時期を決めたり、レンズで温度を測る「打ち水」機能によって気温を下げたりする、測るレンズの機能をフル活用したロボットを提案しました。

<準グランプリ・武蔵コーポレーション賞>

大宮国際中等教育学校 チーム名：every day

プレゼンテーションタイトル：「児童保育施設の運営」

内容：企業の持つリフォーム技術と地域の学童保育の状況や空きアパートの多さを掛け合わせ、新しい児童保育施設を運営する企画を提案しました。

<AGS 賞>

岸中学校 チーム名：はっとりファミリー

プレゼンテーションタイトル：「IT システム×学校→教育の発展へ」

内容：AI による板書システムや情報管理システムを開発し、運用することで、学校の ICT 化を推進する企画を提案しました。

<サイサン賞>

岸中学校 チーム名：トリプルライス

プレゼンテーションタイトル：「ベビーシッターランド」

内容：ガス、電気、水等、生活に欠かせない企業の経営資源を活かし、保育施設の低価格化の実現について提案しました。

<デザイン賞>

岸中学校 チーム名：捜査本部

プレゼンテーションタイトル：「ブルーインパルスで創るさいたま市」

内容：ブルーインパルスのようにドローンで空中描画を行い、地域のイベントの活性化を図る企画を提案しました。

○来賓・審査員

＜さいたま市より＞

さいたま市	市長	清水	勇人
さいたま市教育委員会	教育長	細田	眞由美（審査員）

＜来賓（審査員）＞

県民共済生活協同組合	理事長	利根	忠博	様
埼玉りそな銀行	代表取締役社長	福岡	聡	様
埼玉県経営者協会	専務理事	廣澤	健一	様
さいたま市商工会議所	理事	吉沢	浩之	様
さいたま市教育委員		野上	武利	様

○実施概要

- 1 日 時 令和4年12月17日（土）9:00から12:15まで
- 2 会 場 さいたま市立大宮国際中等教育学校
- 3 内 容 全13チームによるプレゼンテーション
- 4 参加校 岸中学校 浦和中学校 大宮国際中等教育学校
- 5 連携企業 株式会社教育と探求社
- 6 参画企業（企業名五十音順）
AGS 株式会社
株式会社サイサン
株式会社タムロン
株式会社デサン
武蔵コーポレーション株式会社

※「さいたまエンジン」とは、企業へのビジネス提案を取り入れた探究学習です。